

【 施設名 】洪水時等の避難確保計画【記入例】

年 月 日

【施設の土砂災害警戒区域・浸水想定】 ※豊岡市防災マップ or 兵庫県 CG ハザードマップで確認

- ・浸水想定:0.5m~3.0m未満(2階まで浸水しない)
- ・土砂災害警戒区域:指定あり(土石流・急傾斜)

豊岡市防災マップ、兵庫県 CG ハザードマップ等を確認して施設にどのような災害想定があるか確認して記載。  
想定がある災害のみ記載でOK

【目的】

水防法第15条の3第1項(土砂災害防止法第8条の2)に基づき、洪水時(土砂災害の恐れがある場合における)の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。計画適応範囲は本施設に勤務又は利用する全ての者とする。

【休業判断】

- ・午前7時時点で非常体制となる基準である場合。
- ・非常体制になる可能性が高い場合

いつ行動を起こすか、判断基準を記載。  
施設の災害想定に合わせ、土砂災害警戒情報や気象情報等を記載する。

利用者・職員の安全を確保するため、各施設に合わせ活動内容を記入。

【体制確立とタイミング】

	いつ	なにをするか
<b>注意体制</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風が来ることが予想される1日前</li> <li>・大雨注意報発令し、さら雨が激しくなる予報がある時</li> <li>・豊岡市が災害警戒本部設置した時 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象に関する情報収集を行う</li> <li>・事前利用休止の検討をする</li> <li>・保護者への連絡</li> </ul>
<b>警戒体制</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【警戒レベル3】高齢者等避難が発令される恐れがある時</li> <li>・自主避難所を開設した時</li> <li>・豊岡市が災害対策本部設置した時 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象に関する情報収集を行う</li> <li>・臨時休止、児童引き渡しの判断</li> <li>・必要な資機材の準備</li> </ul>
<b>非常体制</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【警戒レベル3】高齢者等避難開始が発令</li> <li>・大雨洪水警報、洪水警報</li> <li>・土砂災害警戒情報発令 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な場所へ避難させる。 (避難場所へ避難、施設2階へ避難等)</li> </ul>

【避難誘導】

避難場所:〇〇小学校  
避難手段:徒歩(5分)

災害想定を確認し、施設2階等で安全が確保できるのであれば、そのことを記載。

【情報収集】

収集する情報	収集方法
気象情報	防災行政無線、テレビ、ラジオ、気象庁HP※1、川の防災情報(国土交通省)※2兵庫県土砂災害危険度※3、とよおか防災ネット(ひょうご防災ネット) 等
避難情報	とよおか防災ネット(ひょうご防災ネット)、防災行政無線

※1 <https://www.jma.go.jp/jp/kaiotan/> ※2 <https://www.river.go.jp/portal/#80>  
 ※3 <http://sabo.civil.pref.hyogo.lg.jp/chiikidosya/>

必要な情報を、どのような手段で収集するか記載。

【訓練】

毎年●月に以下の訓練を実施

情報収集訓練を実施する。避難場所・経路の確認、緊急時の役割分担を確認する。

準備品の点検。等

訓練は実施が義務されています。  
必ず行い計画の実効性を確認してください。

【防災体制】

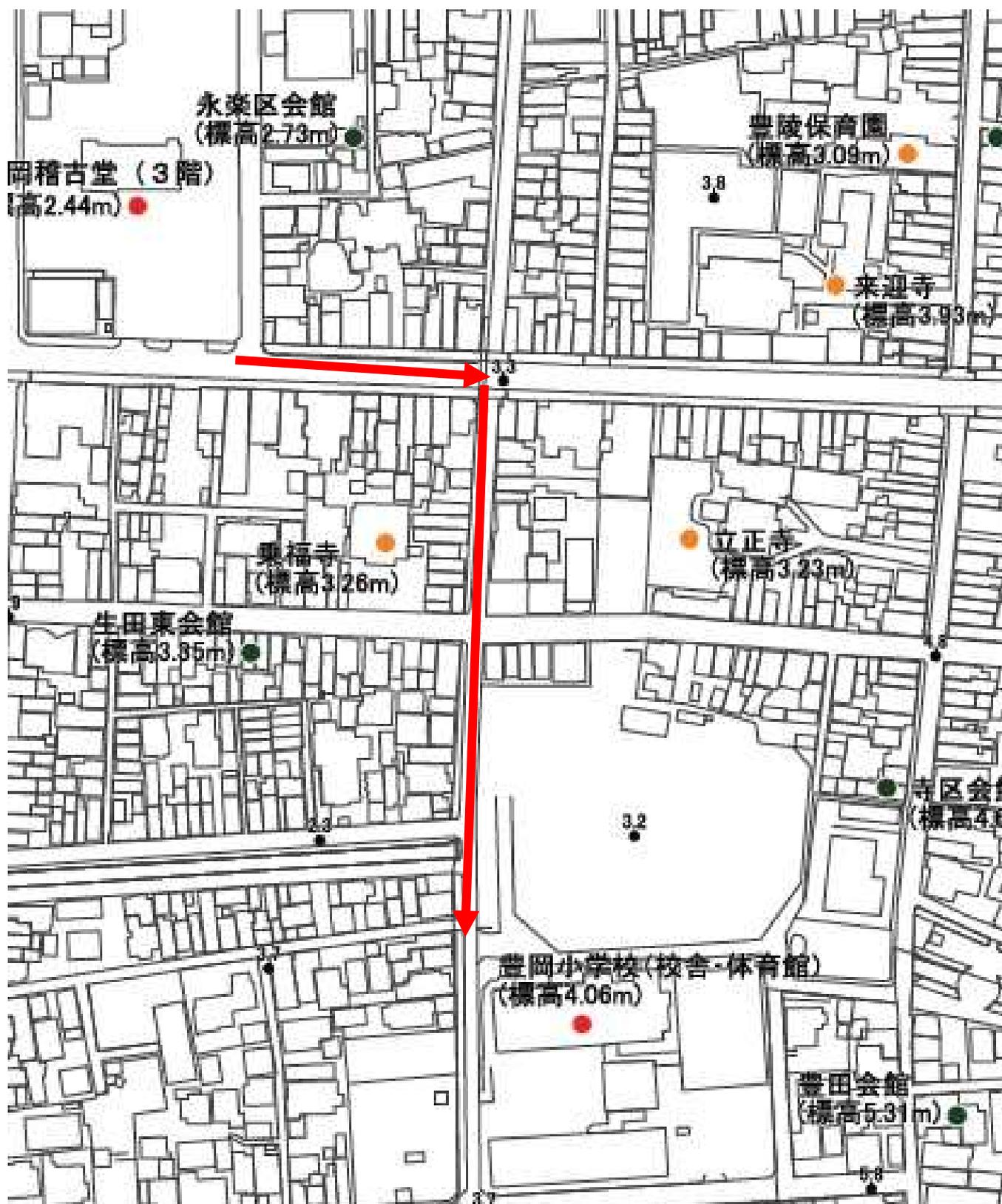
役割	活動内容	担当者
情報収集・伝達係	情報収集を行う 保護者への情報伝達を行う 等	
避難誘導係	避難場所へ誘導を行う 資器材の準備 等	

【洪水等に備えた準備品チェック表】

使用する設備又は資器材	
情報収集・伝達	<input checked="" type="checkbox"/> 防災行政無線受信機 <input checked="" type="checkbox"/> テレビ <input checked="" type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> タブレット <input type="checkbox"/> FAX <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話 <input checked="" type="checkbox"/> 懐中電灯 <input checked="" type="checkbox"/> 電池 <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話用充電器
避難誘導	<input checked="" type="checkbox"/> 利用児童の名簿 <input type="checkbox"/> 案内旗 <input type="checkbox"/> タブレット <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話 <input checked="" type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 電池式照明器具 <input checked="" type="checkbox"/> 電池 <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話用バッテリー <input type="checkbox"/> ライフジャケット <input checked="" type="checkbox"/> 誘導灯
屋内安全確保	<input type="checkbox"/> 水(1人あたり__ℓ) <input type="checkbox"/> 食料(1人あたり__食分) <input type="checkbox"/> 寝具 <input type="checkbox"/> 防寒具
衛生用品	<input checked="" type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input checked="" type="checkbox"/> ゴミ袋 <input checked="" type="checkbox"/> タオル <input checked="" type="checkbox"/> マスク <input checked="" type="checkbox"/> 手指消毒用アルコール

上記以外にも準備品がありましたら、記入いただき、訓練等の機会に使用期限の確認や点検等を行ってください。

**避難経路**



**豊岡市防災マップを印刷し、手書きでも構いません。**

## 計画作成時のポイント

1. 必ず、施設における災害想定を確認する。  
⇒施設に起こりうる災害を確認し、その災害想定に応じた計画を作成してください。
2. 避難場所は安全を確保できる場所にする。  
⇒避難とは“難”を“避ける”ことです。避難場所へ行くことで危険にさらされるようなことがないよう、豊岡市防災マップ等を利用し、安全な場所はどこか、確認してから避難場所を決めてください。
3. 施設の災害想定・行動を起こす判断基準に必要な情報収集を行う。  
⇒情報収集する手段は記入例がすべてではありません。判断に必要な情報を得られる手段を記入してください。  
記入例にあるサイトをぜひご活用ください。日頃より、明日の天気どうだろうという時などに閲覧するにも便利なサイトです。普段より使用いただければ習熟にもなりますので、ぜひご活用いただければと思います。またぜひとよおか防災ネットにご登録ください。災害時、避難情報だけでなく、避難所開設情報なども配信されます。
4. 計画に則った訓練の実施。  
⇒訓練は義務化されています。計画の実効性を高めるため、訓練を行い、計画の見直し・修正を行ってください。